



高原の自然館ニュースレター

# 苅尾電波塔

第72号

2010.1.1

高原の自然館

苅尾（かりお）とは、広島県北広島町芸北にある山の名前です。  
一般には臥竜山として知られていますが、地元の人たちは親しみをこめて「かりお」  
の名前をつかっています。

## もくじ

### お知らせ

- ごあいさつ
- 新聞記事のご紹介

### 活動報告

- 千町原の草刈り 秋
- かんじき作り

### 観察会案内

- 冬を生きる動物たちの生態
- 雪原のトレッキング
- 早春のトレッキング

## お知らせ

### ●ごあいさつ

新年明けましておめでとうございます。2010年もみなさまと一緒に様々な活動ができるよう計画をしております。高原の自然館および、西中国山地自然史研究会へのご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

### ●新聞記事掲載のご紹介

雲月小学校の児童が撮影した四季の植物の写真展について、中国新聞に記事が掲載されました。

北広島町内での展示も予定されているようです。詳細が分かり次第、ご案内します。

中国新聞（2009.12.16）

“雲月山の美景 児童がパチリ”

<http://www.chugoku-np.co.jp/News/Tn200912160009.html>

## 観 察 会 報 告

### ●千町原の草刈り 秋

開催日時:2009年11月23日(月・祝)8:00

今年も千町原の草刈りの日を楽しみに、準備をしました。予想以上に申込みがあり、参加者は98名となりました。集合場所の山麓庵前は、早朝にもかかわらずぎやかな光景となりました。受付をすませ、草刈り仲間と久々の再会を喜ぶ顔や、今からの作業を楽しみにしているエネルギーにあふれた顔をたくさん見ることができました。

今回の目的は、「来春の火入れに向けて防火帯を作ること」と「ヨシ原の樹木を伐採し、景観を保全すること」です。作業内容の手順を聞き、現地へ移動し、3班にわかれ作業開始です。朝は気温が低く寒さを感じましたが、作業が進むにつれ体が温まったようです。休憩をはさみながら、どんどん、ぐんぐんと作業が進み、午前中にはほとんど防火帯をつくる作業が終わりました。そして、みなさんが楽しみにしていたお昼ごはんです。今回も民宿組合のお母さん方にあったかいお汁と炊き込みごはんを作ってくださいました。もちろん千町原で刈り取られた草の堆肥を使って栽培された、はらっぱ米とはらっぱ一大根も使われています。あたたかな日差しのもと、おいしいものを仲間たちと食べるということは、何よりのごちそうでした。

お昼休憩に、キッズプログラムから、子どもたちの発表がありました。この千町原の草刈りから生まれた「はらっぱーと草原のなかまたち」という絵本をもとに、子どもたちが登場人物となり、大人たちへお話をきかせてくれました。絵本の読み手の女の子、カヤネズミになった男の子、草刈り機を使うおじちゃんになった男の子、マツムシソウになった女の子・・・とそれぞれとってもほほえましく、楽しんでいる様子でした。見ている大人たちからも嬉しそうな表情が見えました。お昼からも作業に入り、時間まではしっかり作業をしました。樹木が伐採されたため、道沿いから見た景色がすっきりとし、「いい草原になるねー」という声があがりました。

多くの方の力に支えられ、秋の千町原の草刈りも今回で5回目となりました。今年は全国草原サミット・シンポジウムが芸北で開催さ

れ、草原の価値の見直しや幅広い活用の期待が高まっています。サミット・シンポジウムで北広島宣言が採択され、その内容も草刈りの作業後に紹介されました。この宣言のなかにあるように、それぞれの立場でできることを考え、実践し、続けていくことが大切なんだなあと感じました。無事草刈り作業を終え、恒例の記念撮影を行いました。参加者のみなさんがとても清々しい表情をされていたのが、印象的でした。作業の後は、八幡の前さんが準備してくださった「ラム肉の焼き肉」で仕上げをしました。想像以上においしいお肉でした。ケガや事故もなく、2009年も草刈りを終えることができました。当日参加した下さった方、また普段からこの活動を支えて下さっている方みなさんに感謝します。[このやよい]

※当日撮影をし、写真を提供いただいた荒木則行さん、越岡真喜子さん、ありがとうございました。

また益田市の大坪剛三さんには「資金の一部に」ということで志をいただきました。みなさんにご紹介するとともに厚くお礼申し上げます。ありがとうございました。



山麓庵の前に集合。



たくさんの草も軽々と、



みんなでお昼ごはん、



草刈り機で刈った後は、熊手で集めて寄せる。



本日の作業は終了～、みなさんいい笑顔です！



にこにこ笑顔のはらっぱー、主役です。



山麓庵に並んだはらっぱー大根、生産者の坂井健作さんから参加者へ、感謝の気持ちをこめて、お土産となった。

## 観 察 会 報 告

### ●かんじき作り

開催日時:2009年12月5日(土)10:00

講師:坂井健作

雨が降りそうな天気の中、今回は7人の参加者が高原センターへ集合しました。子どもの参加者と、取材のため、きたひろネットの方がいたので、少人数ながら賑やかなスタートとなりました。例年通りカンジキ作りでは、木の枝とロープを使って行います。カンジキの材料や作り方は家々によって違い、坂井先生の家はガマズミを使うそうです。木を輪っか状に曲げる作業は先生が準備され、その輪を参加者がそれぞれ自分に合うものを選びました。次に、片足で8mのロープを使うので、同じ長さのものを一人2本用意します。結構な長さがあるため、子供たちにも手伝ってもらいました。準備ができたので、用意したロープで巻いていきます。この作業がなかなか難しく、男結びなどの変わった結び方もあるため、何度も先生の巻き方を見ながら巻いていきました。巻いては直しを繰り返しながら段々と形になっていくのは楽しく、悩みながらもそれぞれ自分のカンジキが出来上がりました。最後に、出来たカンジキをきたひろネットの方に撮っていただき、終始にぎやかなカンジキ作りとなりました。[しんぼゆうすけ]



先生を取り囲んで輪になり、かんじきがどのように使用されていたかなど興味深いお話を聞く。



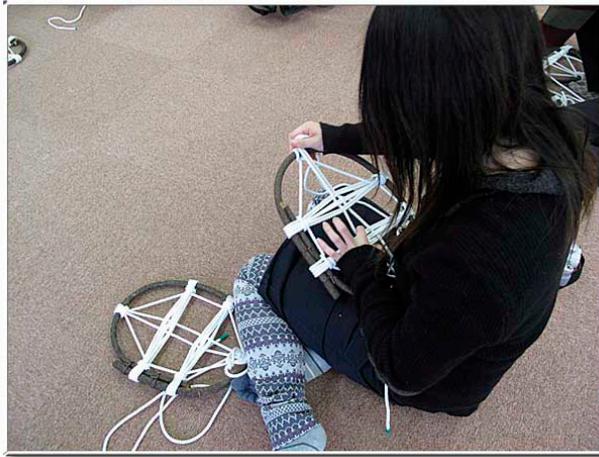
輪を巻き付けていくことを「さなぐ」という。家によって色々な輪のさなぎかたがあるらしい。



今回の講師ははらっぱ米やはらっぱ一大根を生産されていることでもおなじみの坂井先生。



先生の手元をみながら、真似てみる。



片足を終えてもう片足だから、余裕をもって巻き付ける。



きたひろネットの取材をうける参加者。



できあがりを履いてみる。履き方にもコツがある。



最後に記念撮影。みんな自信作です！



履き心地はどうでしょう？

### 【みなさんの印象に残った物】

「みなさんが早く完成されたこと」「カンジキ体験」「おとこむすび(2)」「男結びが難しかった」「みんなでわきあいあい、楽しかったです。」

### 【参加したみなさんの感想(抜粋)】

「少しでも昔の生活が体験できたこと」「思った以上にステキなカンジキが出来て良かったです」「たのしかった」「雪の中歩きにまた来ます。」「自分で作ったが出来が良かった」「雪以外でもかんじきを使うことや、かんじきに使う木のことなどたくさん知れてよかった。間違えたこともまた楽し。」

## 観 察 会 案 内

観察会に参加される時には、次のようなものを持参してください。カメラ、双眼鏡、ルーペ、図鑑などもあれば、楽しいと思います。

**基本セット**：山を歩ける服装、雨具、飲み物、おやつ、筆記用具、メモ帳

**作業セット**：作業ができる服装、長靴、軍手、雨合羽、飲み物、おやつ

### ● 冬を生きる動物たちの生態

開催日時：2010年1月16日(土) 10:00  
集合場所：高原の自然館  
講師：上野吉雄  
準備：基本セット、かんじき(レンタル/1個200円)、スノーシュー  
定員数：30名  
参加費：一般=300円  
賛助会員=100円  
正会員・中学生以下=無料

冬を生きる動物たちは、雪の上で様々なサインを見せてくれます。足跡、フン、食痕など、先生の説明をきくとサインの意味がよりわかり、動物たちを身近に感じることができるでしょう。雪上を歩けるアイテムと服装でお越し下さい。

### ● 雪原のトレッキング

開催日時：2010年2月21日(日) 10:00  
集合場所：高原の自然館  
準備：基本セット、かんじき(レンタル/1個200円)、スノーシュー  
定員数：30名  
参加費：一般=300円  
賛助会員=100円  
正会員・中学生以下=無料

雪の草原を歩きましょう。いつもより高いところを歩くので、視点が変わっておもしろい発見があるかもしれません。寒くても冬の八幡高原を楽しめるトレッキングです。

### ● 早春のトレッキング

開催日時：2010年3月6日(土) 10:00  
集合場所：高原の自然館  
準備：基本セット、かんじき(レンタル/1個200円)、スノーシュー  
定員数：30名  
参加費：一般=300円  
賛助会員=100円  
正会員・中学生以下=無料

暖冬の影響で、3月には雪がないかもしれませんが。雪の下で春をまつ植物や、はやくもなわばりを主張する鳥の姿を見ることができましょう。冬の痕跡と春の兆しを感じられるトレッキングです。



あっという間に新年がやってきました。今年はどんなことがあるんだろうかとワクワクします。八幡で暮らしていると、美しい風景、心安らぐ風景、あっという間に驚くような風景に出会えます。その瞬間を逃さないようにしっかり感じ、写真に撮ることができたらいいなあと思います。寒さの中ではつつい家の中で過ごしがちになりますが、かんじきで歩いたり、雪を使って遊んだりして、冬ならではの体験をしたいいなあと思います。(この)

記事に関するお問い合わせ、観察会のお申し込み先  
(ご意見・ご感想もお待ちしています)

高原の自然館(こうげんのしぜんかん)

〒731-2551 広島県山県郡北広島町東八幡原119-1

tel. & fax : 0826-36-2008

<http://shizenkan.info/>

[staff@shizenkan.info](mailto:staff@shizenkan.info)